



“SMARTstylus”

ハイエンド・トーンアーム「AXIOM」やヘッドシェル「Arché」等アナログ・コンポーネントの精度の高さとサウンドクオリティーで知られるドイツ・Acoustical Systems より、新たなセッティングツール「SMARTstylus」スマートスタイルスの登場です。

トーンアームの取り付けやオーバーハングを調整するための高精度なツール「SMARTtractor」に続く新たなツールである「SMARTstylus」は、今まで視認することが難しかった SRA/VTA と、カートリッジの傾きであるアジマス角度を正確に測定することができます。

● SMARTstylus の特徴

- ・SRA、VTA、アジマス角をレーザー刻印による精密なテンプレートを用いて測定することができます。
- ・SRA(針先すくい角)は垂直 90°から $\pm 5^\circ$ の 1°刻みでの測定が可能。(推奨値 92°)
- ・VTA(垂直トラッキング角)は 16°~22°まで、2°刻みでの測定が可能。(基準値 18°)
- ・正確な縦横の刻みによりアジマス角の測定が可能。
- ・Acoustical Systems 独自のカード型 2 倍/5 倍拡大鏡にて、通常見づらい細かな針先までを視認することが可能。

※ SMARTstylus に刻まれている値はあくまで目安となるものです。

カートリッジや針の材質等により最良の音質となる調整角は違いますのでご自身のシステムに合った最良の角度を見つけるための補助ツールとしてお使いください。

・希望小売価格 13,000 円(税別)



SMARTstylus の詳細な使用方法は次頁をご覧ください。

※記載内容は 2016 年 3 月現在のものです。仕様および外観は予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

NOAH 株式会社 **ノア**

112-0013 東京都文京区音羽1-1-7 正進社ホールディングスビル4階
TEL 03-6902-0941 FAX 03-6902-0944 <http://www.noahcorporation.com>

● SMARTstylus の使用方法

- ・SMARTstylus 本体と、設置用クロスバーの凹部分を組み合わせます。
(きつく嵌りすぎると破損の恐れがあるため多少の遊びがありますが、異常ではありません)
- ・組み合わせた SMARTstylus を、ターンテーブルプлатターのカートリッジ針先が降りる位置へと設置します。
測定は外周とプлатター中心からおおよそ半分の位置で行ってください。
- ・付属のカード型拡大鏡を使い、針先の角度を測定・調整してください。
拡大鏡の広い部分は 2 倍、円形の小さな部分は 5 倍の倍率です。
いずれの場合も、目と SMARTstylus の間に拡大鏡をセットし、拡大鏡を移動させることで焦点を合わせてください。
- ・測定の前に、オーバーハングや針圧が正しく調整されている必要があります。



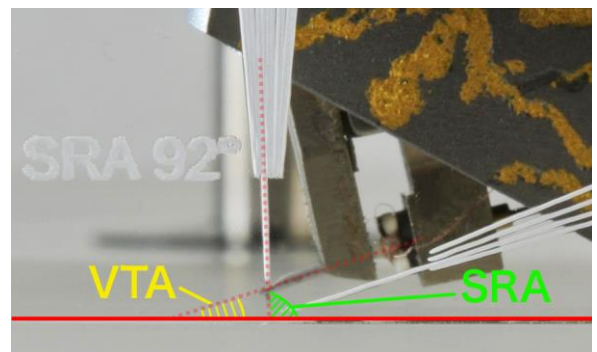
SRA の測定

SRA(Stylus Rake Angle-針先すくい角)を測定するために、針の先端が SRA92°の刻みの先端と合う位置に SMARTstylus を設置してください。

SMARTstylus の刻みを通して針先を見ることで、針先のおおよその角度が分かります。

トーンアームの高さやヘッドシェルを調整し、最適な SRA に設定してください。

※SRA92°は、Acoustical Systems が推奨する SRA です。



VTA の測定

VTA(Vertical Tracking Angle-垂直トラッキング角)を測定するために、傷が入っても良いレコード盤または別売の SMARTtractor をプлатターに乗せてください。

SRAの測定時と同様、SRA92°の刻みの先端と針の先端が合う位置に合わせ、針をレコード盤または SMARTtractor に落としてください。

レコード盤の溝に針先が入った際の、レコード盤表面に対するカンチレバー角度を測定してください。

VTA が低い(レコード盤に対して浅い角度)場合はトーンアームの高さを高く設定するか、ヘッドシェルで調整します。

VTA が高い(レコード盤に対して深い角度)場合はトーンアームの高さを低く設定するか、ヘッドシェルで調整します。

1950年代・1960年代以前の古い時期にカッティングされたレコードをよくお聴きになる場合は VTA を低く(約 17°以下)、1970年代以降、比較的近年にカッティングされたレコードをよくお聴きになる場合は VTA を高く(約 21°まで)設定することを推奨します。

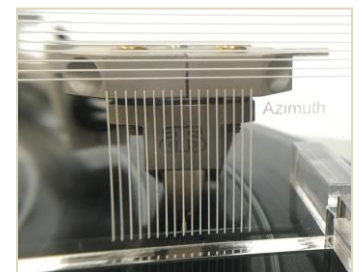
アジマス角の測定

SMARTstylus はカートリッジと針の傾きであるアジマスの測定も可能です。

VTA の測定と同様、レコード盤または SMARTtractor の上に針を落として測定します。

カートリッジの正面に対してアジマス測定部を正面に設置してください。

左右に伸びた線と縦に伸びた線により、カートリッジと針の傾きを正確に測定できます。



トーンアームとレコード盤の水平を測定

SMARTstylus の左右に伸びた長い線を横から覗くことで、トーンアームがレコード盤に対して水平に位置しているかの測定もできます。

設定することは必須ではありませんが、スタティックバランス型トーンアームの性能を最大限発揮するためには、この水平設定をすることが非常にお勧めです。

